

榎 政信 議員 … 3件の一般質問

景観地区の自然景観・自然環境をどう考えるか

町長：花園ビレッジ地区の建築物の高さ制限を検討したい



榎

スキー場エリアの景観地区の開発が活況を呈している。それと共に樹木が伐採され緑がどんどん減ってきている。森林を切り開いた宅地造成も増えてきている。花園ビレッジ地区に世界有数のホテルの進出報道もある。花園ビレッジ地区には、建築物の高さ制限が規定されていないが、無制限に建てられるのか。インフラ整備が自然環境に与える影響も最小限にすべきと思うし、ごみ処理も心配である。

町長

一時落ち込んだホテル等の建設工事が近年増加傾向である。樺山地区も開発行為等分譲地の造成、別荘やホテルが建設されているなど景観地区全体で建設工事が進んでいる状況である。ひらふ高原景観地区の景観づくりは、良好な自然景観と環境のもとに地域の景観が成り立つと考える。リゾート地のまち並み形成を図る上で、樹木等は重要な景観要素で



ホテル進出が計画されている花園ビレッジ地区

あり、保全や再生といった対応を考えていきたい。現在検討中の条例改正は、建築物のほかに景観要素である工作物、屋外広告物の一部を含めた総合的な景観の構築を図るものです。開発行為の樹木の保全や伐採に関し、一定のルールをつくることで、土地利用において自然景観と環境を確保できると考えている。

花園ビレッジ地区の建築物の高さ制限については、町の考えを示したい。今後の取組みは、来年度以降、条例改正に向けた地域とのワークショップや勉強会を開催し、工作物、開発行為等の法委

任の追加改正及び自主条例、冬季間の自粛等、地域の課題の洗い出しとその他の方策の検討したのもも含め、追加検討を行うていく予定。更に本町の景観を通したまち並みづくりを総合的に進めるための景観行政団体に向けた検討も合わせて行っていきたい。

榎

花園ビレッジ地区の計画に関する協議は進められているのか。景観条例の制定時に、花園地区の協定書があり高さ制限の数字が明記されなかった。その協定はどうなっているのか。

町長

事業者の計画が決定しているわけではないので協議は行われていない。しかし、町が高さを示せるように議論を重ねる。事業者が変わったので新たな協定を結んでいる。

地域木材の利用促進積極的に取組むべき

榎

管内には建築用に利用可能な木材が豊富にある。平成24年に

倶知安町地域材利用促進方針を策定しているが、木材の利用促進は如何か。統合保育所や公共建築に町有林や地域材を優先的に利用すべきではないか。くっちゃん型住宅にも地元木材の利用を促進すべきと思うが如何か。

学校給食の地産地消のように、倶知安産・近郊産・道内産・国内産と優先順位を決めては如何か。

町長

地元材の利用は無いが、白樺団地の外壁材に道南杉を使用している。統合保育所に地元材が使えるか確認し、地域材の利用に優先順位を決め取組んでいきたい。くっちゃん型住宅の認定基準で木材の使用を義務付けているが産地の指定はない。地元材を使う取組みも前向きに検討したい。

縮小している木材工場の支援策も検討したい。

高齢の方の見守り隊の結成はいつ頃ですか

榎

独り暮らしの高齢者の支援やサポ

トする見守り隊を組織して、話相手やお世話など孤独感を解消する取組みはどうなりましたか。

他町では高齢者見守りネットワークをつくり、支援団体と協定を結び地域包括支援センターや医療機関と連携してサポートを行っている事例もある。砂川市では、高齢者いきいき支え合い条例を制定し、高齢者の見守り支える仕組みをつくり実践している。

町長

緊急通報システム電話サービス、除雪ヘルパーなどの高齢者の見守り対策を行っている。コープさっぽろやエンプライアーと高齢者の見守り活動の協定を結んでおり、社協や町内会の見回り活動も広がっている。プライバシーの問題もあり悩んでいる。条例の研究も行い、災害対応も含め取組んでいきたい。